

住友生命保険学習会パートII

山梨まんまくらぶ

はじめに

生命保険の外交担当者は、がん患者にとって、最も身近な医療関係者以外の頼りたい存在の一人と言える。だからその一言の責任は重い。がん患者にとって、治療と生活は予想以上に両立が難しい。つまり、お金の切れ目が命の切れ目になることもあるわけだ。そこで、保険にかかわるすべての人に、がんやがん治療およびがん治療施設等に関する基礎的な知識を持っていただきたい。そして、自分自身もがんに関心を持っていただきたい。そんな想いで今回の学習会の資料を作成した。

実施概要

◆実施期間 2015年3月6日(金) 18:00~19:30

◆実施内容 PPTによる講演

◆プログラム

1	山梨県の状況	○ 山梨県地域がん登録から、県内のがん罹患状況とがん種別・男女別年定階級別の罹患状況を知る
2	そもそも「がん」ってなに？	○ がんの基礎知識と、発がんのリスクを考える
3	がん治療について	○ がん治療の概要と、山梨県のがん治療環境を知る
4	乳がん、子宮頸がんのお話し	○ 乳がんの基礎知識 ○ 子宮頸がんの基礎知識と発がんの仕組み
5	知っておいてほしいこと	○ NCDとタバコと日本のタバコ対策

◆参加者 77名

◆実施形式

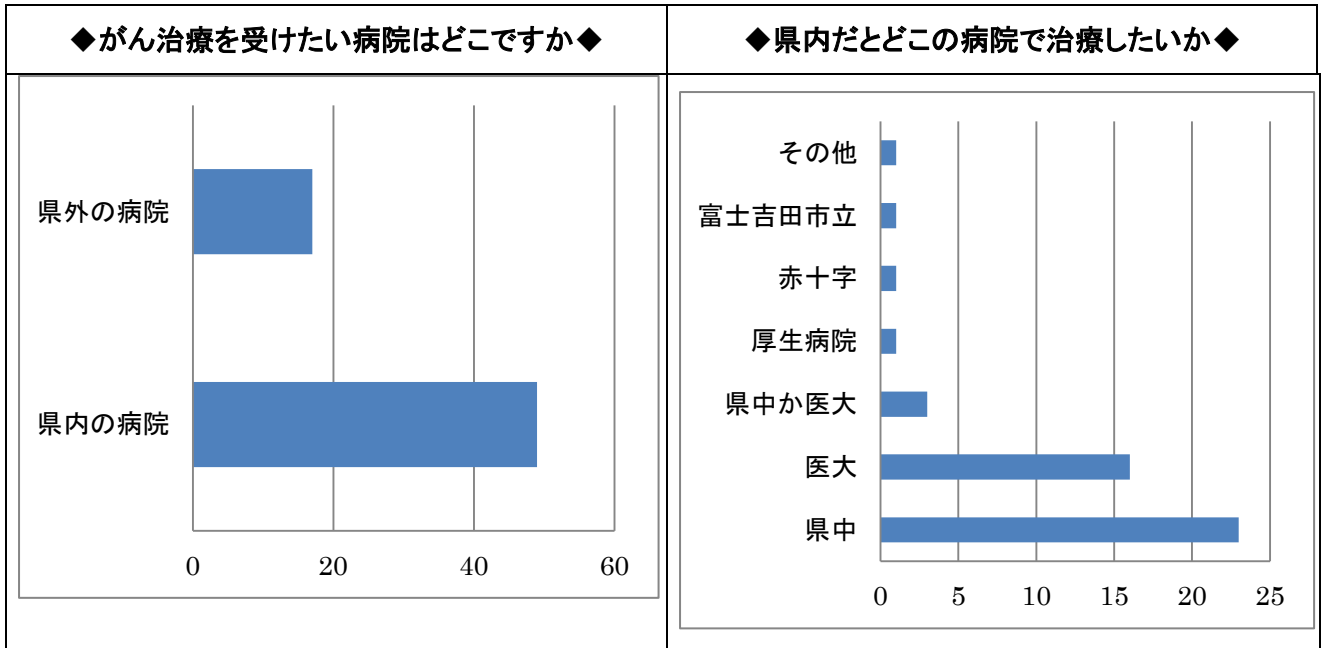
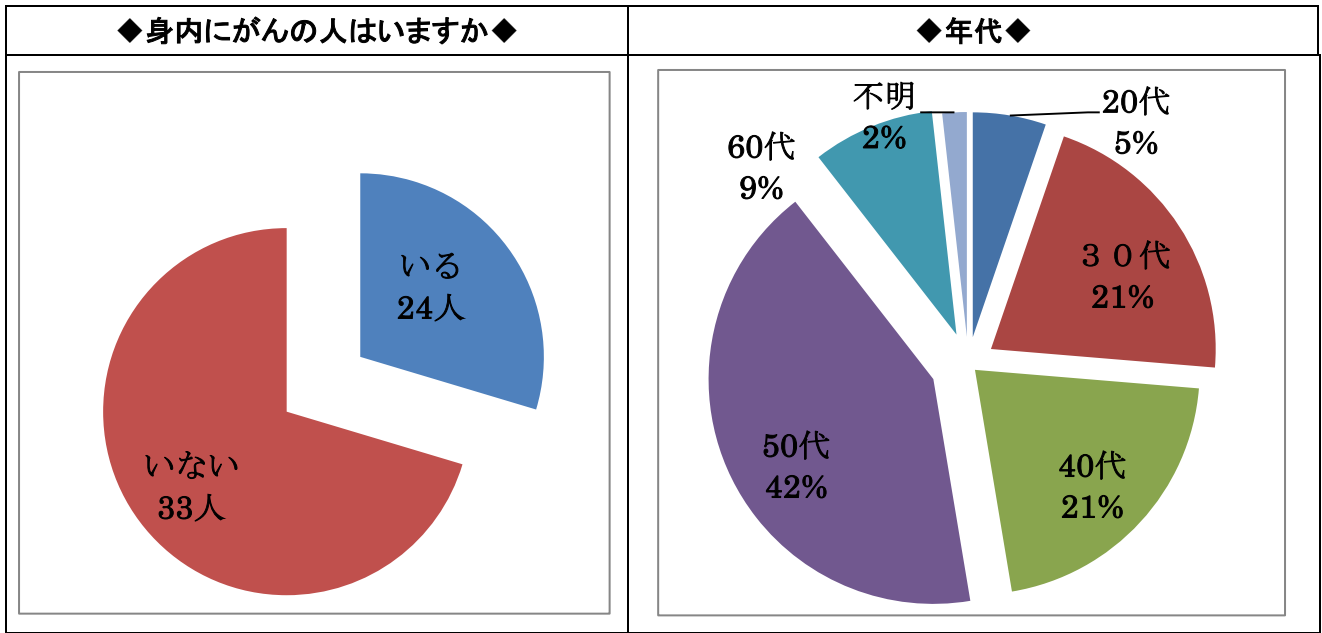
- ・PPTによるグラフ等を観ながらの講演
- ・山梨県のがん医療の現状把握
- ・アンケートの実施

成果

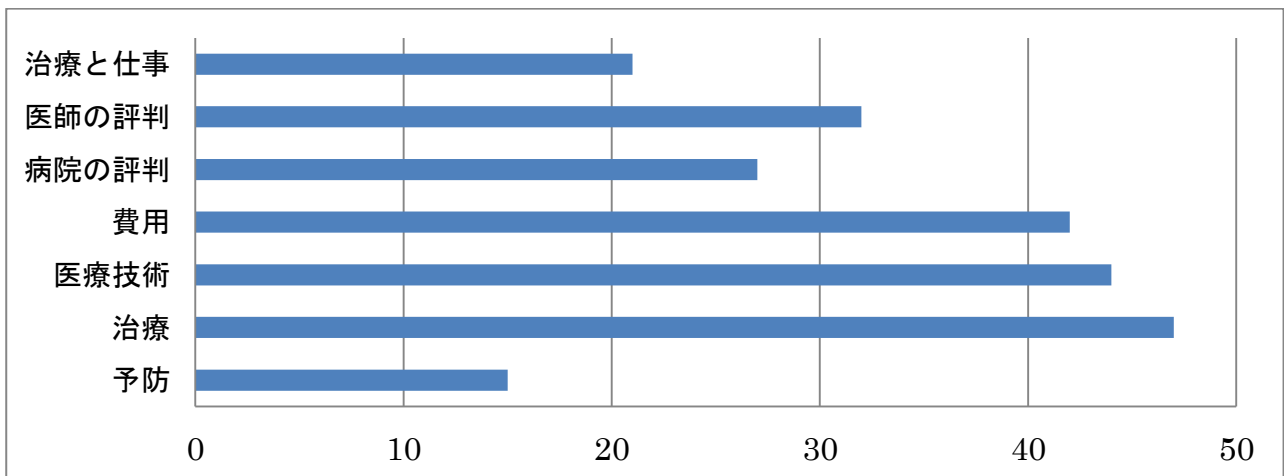
アンケートによると、子宮頸がんについての関心が高いことがうかがえる。特に、その原因がヒトパピローマウイルスの感染であることを初めて知った人が多かった。また、がんは遺伝子のコピーミスで起こるわけだが、その原因とされる物質(タバコが筆頭)に関する関心も高かった。また、今回は山梨県内のがん医療や医療施設に関する内容を取り上げたが、その点に関する関心も高い。そして、参加者が思っているより山梨県内のがん医療環境が信頼できるものであることも伝わったように思う。

保険の外交担当者は、がんの告知を受けた人に直接かかわることが多い。だから、がんに関する基礎的な知識は正しく持ってほしいと思った。

<アンケートの結果 n=57>



◆がんなどの大きな病気をした時、必要な情報は何ですか(複数回答可)◆



将来性～今後のビジョン～

アンケートの中で、大きな病気をした時必要になると思われる情報についてたずねた。今回の講座では、具体的な医療や医療施設をイメージしてもらうようなお話をしたためか、治療や医療技術に関する関心が高かった。二人に一人がガンになると言われていても自分の身近なところで実感するまではやはり「他人事」。保険に関わるスタッフは、そうでない人よりもより「がんと向き合う」とことが必要になると思われる。今後も自分の健康に関心を持つとともに、がんに対しても関心をもって学んでいただけることを期待する。

【参考】

1	全部
2	自分がガンになったら自分がどのようにしたいか明確にして治療してくことをしたいと思った
3	マンモグラフィート乳腺の張り、乳がんは一生あり、乳房再建は個人の体質によってケースバイケース
4	やはり早期発見、検診を毎年受ける
5	がんはそんなに費用は掛からない、その代り通院に時間がかかる
6	乳がんの入院日数 4 日間程度
7	マンモグラフィーはどんなもの？乳がんとは何か？リニアックがある・なしが指定病院決定に重要、ヒトパピローマウイルスに対する知識を持つ
8	雑草とスマレ
9	そもそもがんとは4つの遺伝子のコピーミスによることが原因ということは初耳でした。そして、そのコピーミスの原因にタバコがあったので、周りでタバコを吸っている人に教えたいと思いました。
10	自分のからだのことに関心を持つことが大切
11	健康診断等、自分のからだに興味を持つこと
12	県内のがん治療も進歩していることに驚きました。治療に参加することの大切さも学べてよかったです。
13	遺伝子コピーミス
14	通院特約必要、自分の意思を伝える
15	病院にも医師にも自分の気持ちをしっかり伝える事
16	子宮頸がん、乳がん、女性に対しても男性に対しても伝えていきべき
17	子宮頸がんが男性から運ばれるということを初めて知った
18	がんは早期発見で助かる
19	乳がんの原因で、初潮が早い閉経が遅いが該当していたのでちょっと不安でした。
20	乳がん、子宮頸がんは早期発見で、健診で防げること
21	長野県のがん死亡率はダントツ低い。がんの治療で10年間通院した
22	70年前と現在とでは平均寿命が30歳以上も違うことに驚いた。先進国の中で日本の喫煙率が1番、その中でも山梨は一意的時もあったということに驚きました。胃がんは右肩下がりで減っている(ピロリ菌に対する治療が良くなった)
23	もしがんになっても、いたずらに不安を感じることなく地元でしっかり向き合っていこうと思いました。
24	日本が先進国の中でトップクラスの喫煙率だということ
25	「出口にないトンネル」「向き合うのが大変であった」子宮頸がんが男性が移すものだとは知らなかった。白血病では一条1万円が一生、リニアック(放射線治療装置)

26	ヒトパピローマウイルス
27	男性からもらうヒトパピローマウイルスのこと
28	乳がん、子宮がん健診の大切さ
29	男性から移るといふか、運ぶ子宮頸がんの原因
30	日本はタバコに弱い
31	やはり検診は大切！早期発見！
32	がん診療連携拠点病院がある、子宮頸がんは男性が運んでくることが多い
33	遺伝子(4つの記号)の勉強。山梨県内にがん専門の病院4か所を教えてくださいましたこと
34	検診を受けて早期発見することが大切。治療を任せきりにしない。お客様にも伝えていきたいと思いました。
35	昔の病気と今の病気が違うこと、また、がんの種類(部位)も変化していること。検診が重要であることが分かったが、娘とかにすすめにくい。
36	治療を決定するのは誰」
37	早期発見のため、がん検診は大切であること
38	山梨県が喫煙者が多いということ、かつては喫煙率が一番だったということ。胃がんが減少し、乳がんが増えている。がん発生⇒細胞をコピーしているミスが原因。長野県がガンによる死亡が一番少ない。ヒトパピローマウイルスで感染するという事実。タバコは有害なので罰金性になると良いと思う。
39	乳がん、子宮がんの原因で、女性ホルモンが関わっていること
40	標準治療はマニュアルがあり身近といふか近場に厚生労働省が指定している拠点病院があり、万が一がんになってもそういう意味では少し安心かなと思いました。
41	胃がんが減少しているのはびっくりした
42	自分のからだに関心を持って。自分のどこかに2人1人とは知っていても、検診をおろそかにしていません。今後も、今回の研修を参考にお伝えしていきたいと思ひます。
43	混合診療は以前少し聞いたことがありましたが、詳しく聞いてみたいと思ひました。
44	もっとゆっくり、詳しく聞きたかった
45	自分の意思とか思いとかをしっかりと伝えられるように勉強していきたい。今日はいろいろ教えてくださいましてありがとうございます。
46	大腸がん、肝臓がんの山梨の多さに驚きました。胃がんの減少に驚き(ピロリ菌の処理が良くなったため)ました。がん患者に対して医療関係者の次に保険営業員が心の支えになるとのお言葉が強く心に残りました。
47	今日のセミナーすべてが印象に残りました。とてもわかりやすく、聞きやすいセミナーでした。ありがとうございます。

◆*****◆*****◆*****◆*****◆

特定非営利活動法人がんフォーラム山梨 理事長

山梨まんまくらぶ 代表 若尾 直子

yamanashi_mamma@kjb.biglobe.ne.jp

<http://www.facebook.com/naoko.wakao>

輝くピンクリボンペンダントで乳がんの撲滅を願ひましょう！

宝石の街甲府ならではのキャンペーンにご協力ください

※売り上げの一部は「がんフォーラム山梨」の活動資金に充てられます。

詳しくは「山梨まんまくらぶ」まで

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~yamanashi-mamma/>

◆*****◆*****◆*****◆*****◆

